

OES005-01

会場: 302

時間: 5月23日10:45-10:55

ジオパークにおける研究者の役割

Role of researcher in Geopark

渡辺 真人^{1*}

Mahito Watanabe^{1*}

¹産業技術総合研究所地質情報研究部門

¹Geological Survey of Japan, AIST

ユネスコが支援するジオパークは、地質・地形に関わる自然遺産を中心とした一種の公園で、訪問者にジオツーリズムを楽しんでもらう場所である。ジオパークでは、地域住民が地元の地球科学的な自然遺産を保全するとともにその価値を学び、自らガイドとなり、観光客に地域の自然と伝統文化を楽しんでもらう仕組みである。自治体、地域住民を中心としたボトムアップの組織で運営され、ジオツーリズムとその関連事業により持続的な地域の経済的発展をめざす。ジオパークでの自然遺産の活用は、保全と両立していることが求められる。

ジオパークにおいて、研究者が果たす役割は当然のことながら大きい。ジオパークのメインコンテンツである地球科学的ストーリーを創り出すのは地球科学の研究者である。研究者がジオパークに貢献するためには、その地域の地形・地質に関する、子供にもわかりやすくしかも本質的なストーリーを地域に提供することが不可欠である。地域における研究者の適切な援助により、ジオパークの価値は高まって観光による地域の経済発展が可能になり、また地球科学の普及にもつながる。

現在の研究者を取り巻く状況の下では、論文になるまで時間がかかりがちな野外地球科学は敬遠される傾向にある。しかし、野外地球科学を専門とする研究者がジオパークを通じて地域に貢献し評価されることにより、あるいはジオパークの運営組織に雇用されることを通じて、野外地球科学の振興にもつながる可能性があると考えられる。

キーワード: ジオパーク, ユネスコ, ジオツーリズム, 持続可能な発展, 地域振興

Keywords: Geopark, UNESCO, Sustainable development, geotourism, local development